



きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

仙台七夕まつりの飾り どう作っている？

ニュース

も
教
え
て

こども記者が取材

七夕飾りの作り方について山村さんから話を聞く鷹松さん
仙台市若林区



東北三大夏祭りの一つ、仙台七夕まつりが2年ぶりに開催されること

若林区卸町の鳴海屋

になったね。色とりどりの七夕飾りはどうやって作られているのかな。聖ウルスラ学院英智小4年の鷹松ななみさん(10)が、飾りを作っている会社を取材したよ。

全て手作業 春から準備

紙商事は、市内を彩る七夕飾りの3分の2を作る伝統ある会社。作り始めてなんと60年近くになる山村蘭子さん(90)に話を聞きました。



「七夕飾りは全部手作り。同じデザインは一つとしてありません」。山村さんは説明します。飾りを注文するのは商店街の各店。出来栄も競うので、似たデザインの飾りを納めるわけにはいかないのです。

「頭」と呼ばれるくす玉や、その下にぶら下がる吹き流しの骨組みは竹か木を曲げているので、機械で作ることはできません。飾り付けに使うのは徳島県などで作られた和紙。必要な大きさに切るのは機械ですが、花の形にしたり骨組みに吹き流しを付けたりするのには人の手で行います。

「会社で作業しているのは数人だけ、家で骨組みや花作りをしている人もいます。合計100人ぐらいで手分けして作っています。」



「今年(ことし)は新型コロナウイルスの影響で規模を小さくして開催するため、注文は少ないようですが、いつもの年は4月ごろには作業を始めるといわれています。」

8面に続く

今週の注目ニュース

◇23日(金) 東京五輪開幕

新型コロナウイルスの影響で1年間延期された東京五輪が始まるよ。8月8日まで17日間、東京都など42会場で33競技339種目が開催される。開催賛成、反対はあったけれど、選手の健闘にはエールを送ろう。

きょうの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 この夏 おすすめの一冊
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 7色のくす玉 虹をイメージ